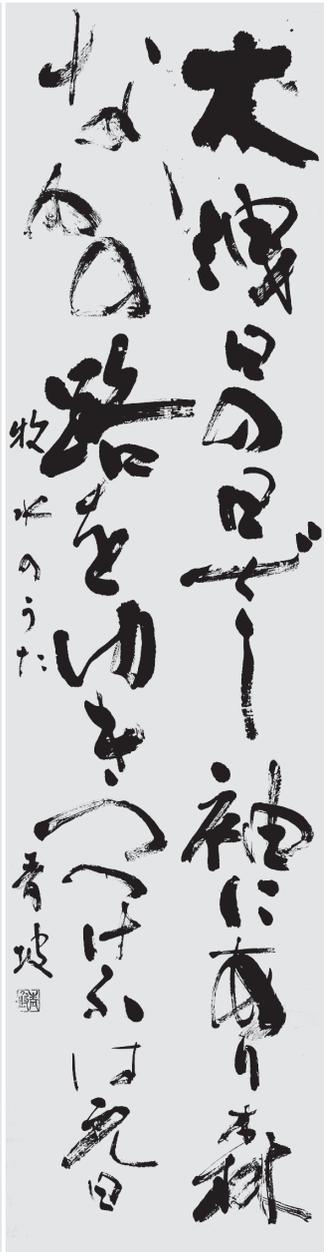
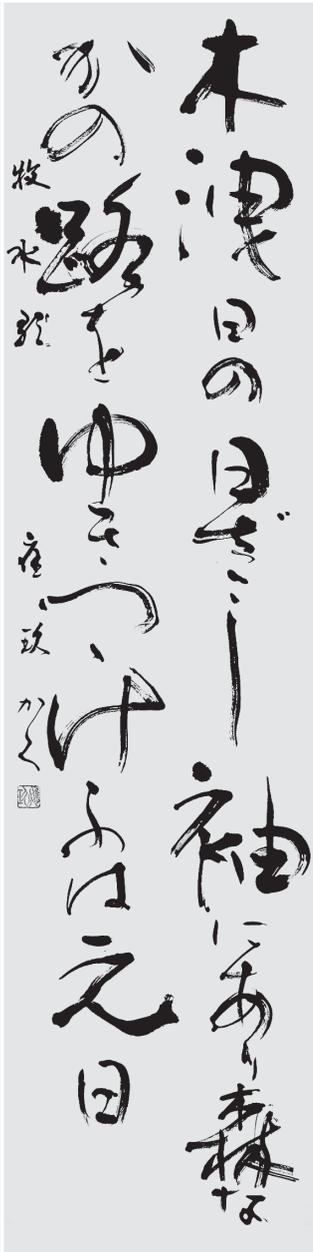
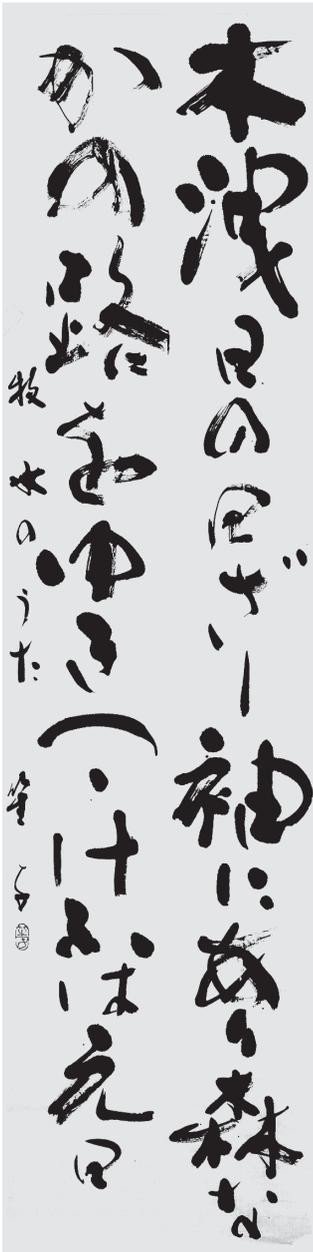


高野清玄先生選評



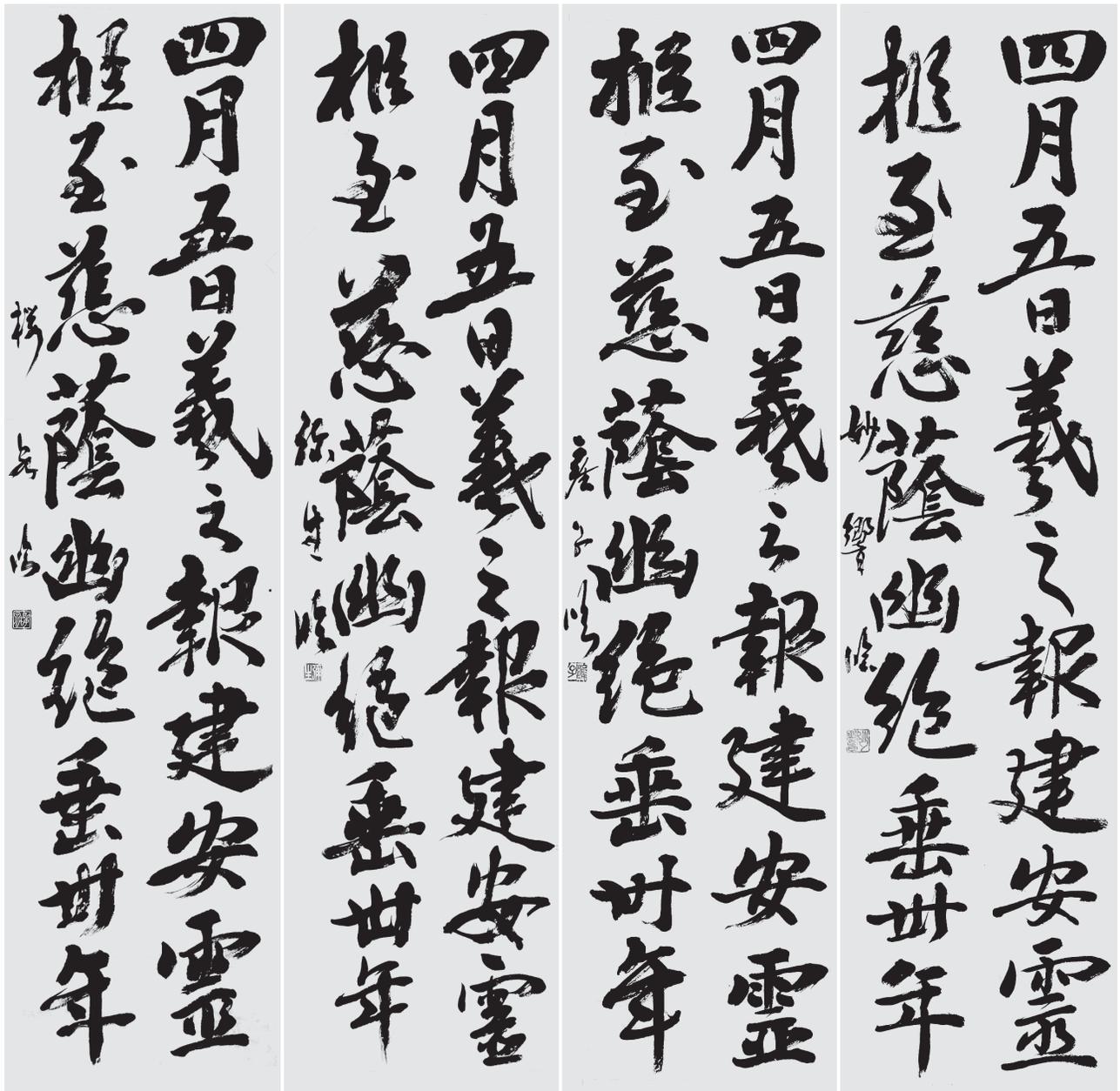
岡田龍華 推選
漢字を隷書体に統一し平仮名をそれに合わせる事により調和をはかる。隷体の線の変化が美しく見せ場となり作品となった。隣同士の強弱が並ぶ傾向になり残念。

新宮 笙子 推選
全体にゆき届いた墨量は作品に温もりを感じさせる。見ているとホツとして安心感が伝わってくる。平仮名の曲線のリズムが漢字との調和となり安定した作品だ。

阿彦 應玖 推選
鷗亭先生の参考作品をベースに肉付けをして自分の作品に仕上げられていて良い。筆毛の穂先を巧みに使い、破筆をも線の变化として利用できる力は素晴らしい。

山根 青坡 推選
墨量多目で潤いを感じさせながら書き始め、自然な運筆の中に強弱の配合を上手く納めて佳作。動きも大きく二行目の渴筆も効果的。下部「袖」に滲みで完成。

葛西玄涛先生選評



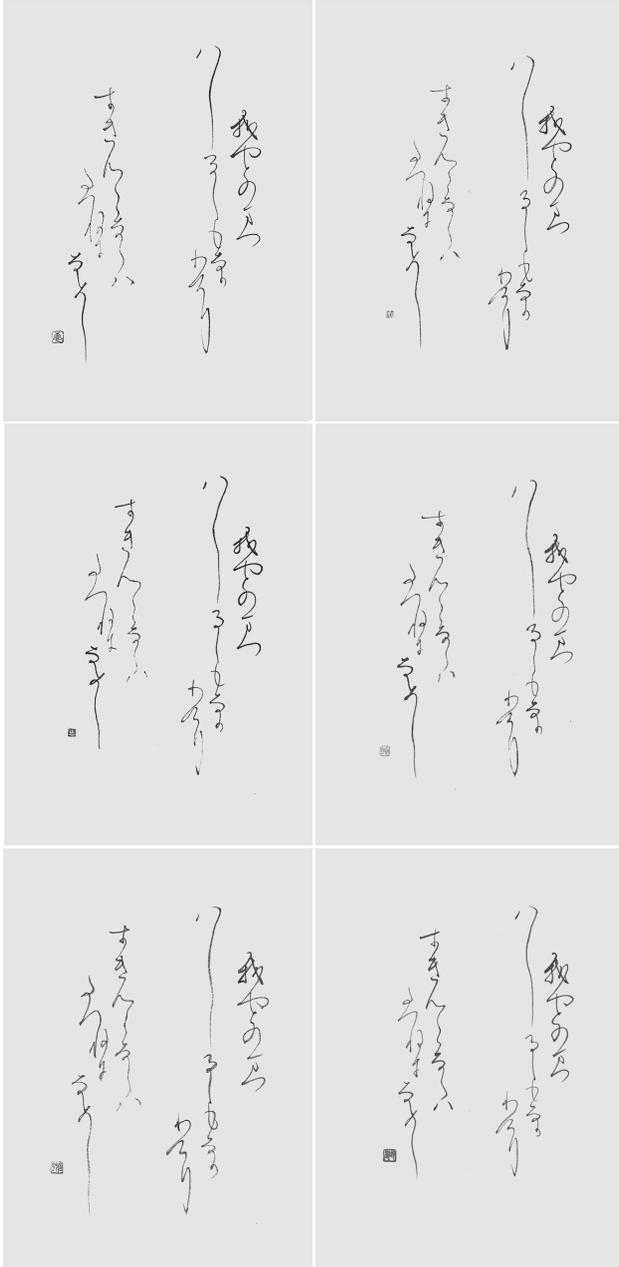
谷澤 妙響 推選
 細めの線できりりと背筋が伸びるような寒風の空気を感ずる。白が多くなつて明るく軽快になつてはいるが、直筆の強い線で安定感を高めることに成功しています。

石田 雍子 推選
 それぞれの文字の特徴をしっかりと観察して真摯に臨書されています。正面を向いた文字が、線に厚みをつけながら細かな動きがあり、義之の技術と内面を捉えた。

小淵 弥生 推選
 迫力を超えて、破壊力を持った作。筆の弾力、反発力を腕や肩で柔らかに受け止めて、強い線を生み出したようだ。悲しい文面を意識して感情を吐露しています。

熊谷 櫻泉 推選
 伸びやかな明るい線が魅力に溢れる。線を密にした細かな動きは、安定した筆運びで緊張感を増すことになった。重剛の比率が偏っていないことが素晴らしい。

吉澤真理先生選評



伊藤琇華 七段
 キリリと引き締まった澄んだ筆線がさらりと流れ凛とした空気が心地良い。紙面の捉え方も大きく存在感を発揮しました。

金子 恵 準七
 長い「し」に少々迷いが見られますがダイナミックな筆致で強弱の変化もあり、迫力ある明るい作となりました。

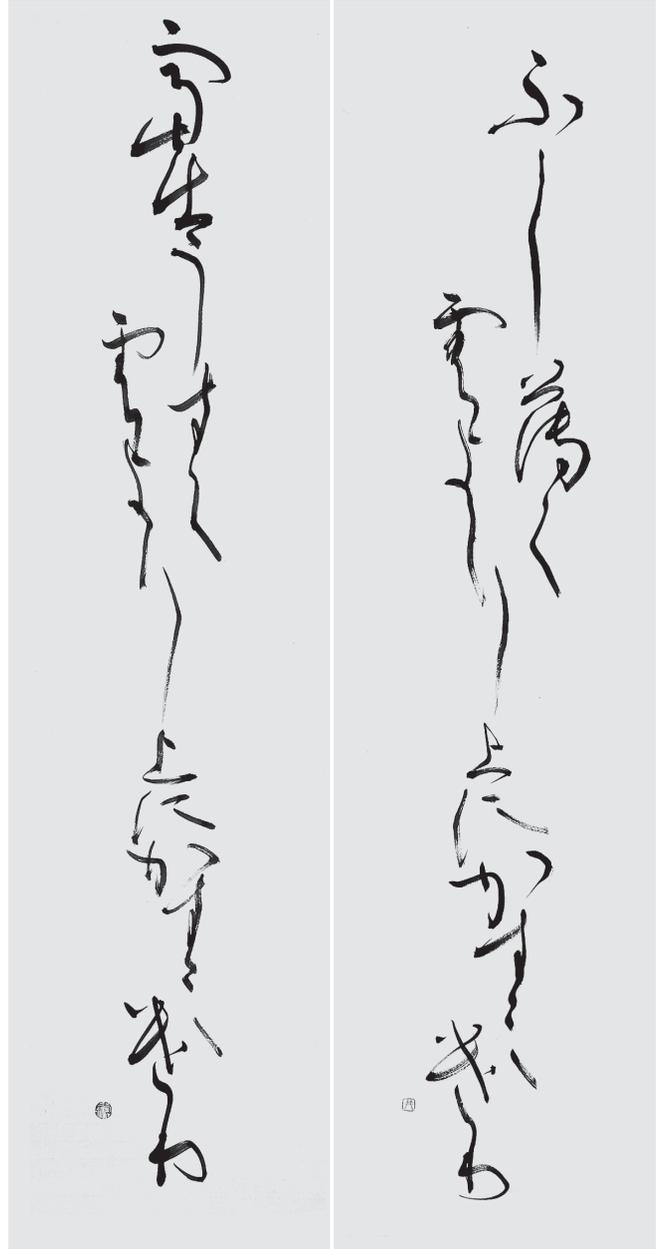
河地雅子 準六
 大らかな運筆で自由な伸び伸びと書かれています。「し」は少々長すぎましたか。あと少し濃墨になると立体感が増すでしょう。

上原加代子 師範
 リズムに乗った筆線は流麗で淀みなく非常に美しい。原帖の特徴である転折をしっかりと捉え全体の収まり良く品位ある作品となりました。

秦 ひとみ 師範
 線質鋭くスピード感もあり、切れ味の良い表現となりました。長い連続線も迷いがなく緩急の変化も見事です。

関村吟香 準師
 透明感のある筆線がしなやかに流れ落ち着きのある安定した作です。潤いの変化をはっきり表現されるとより一層魅力的に。

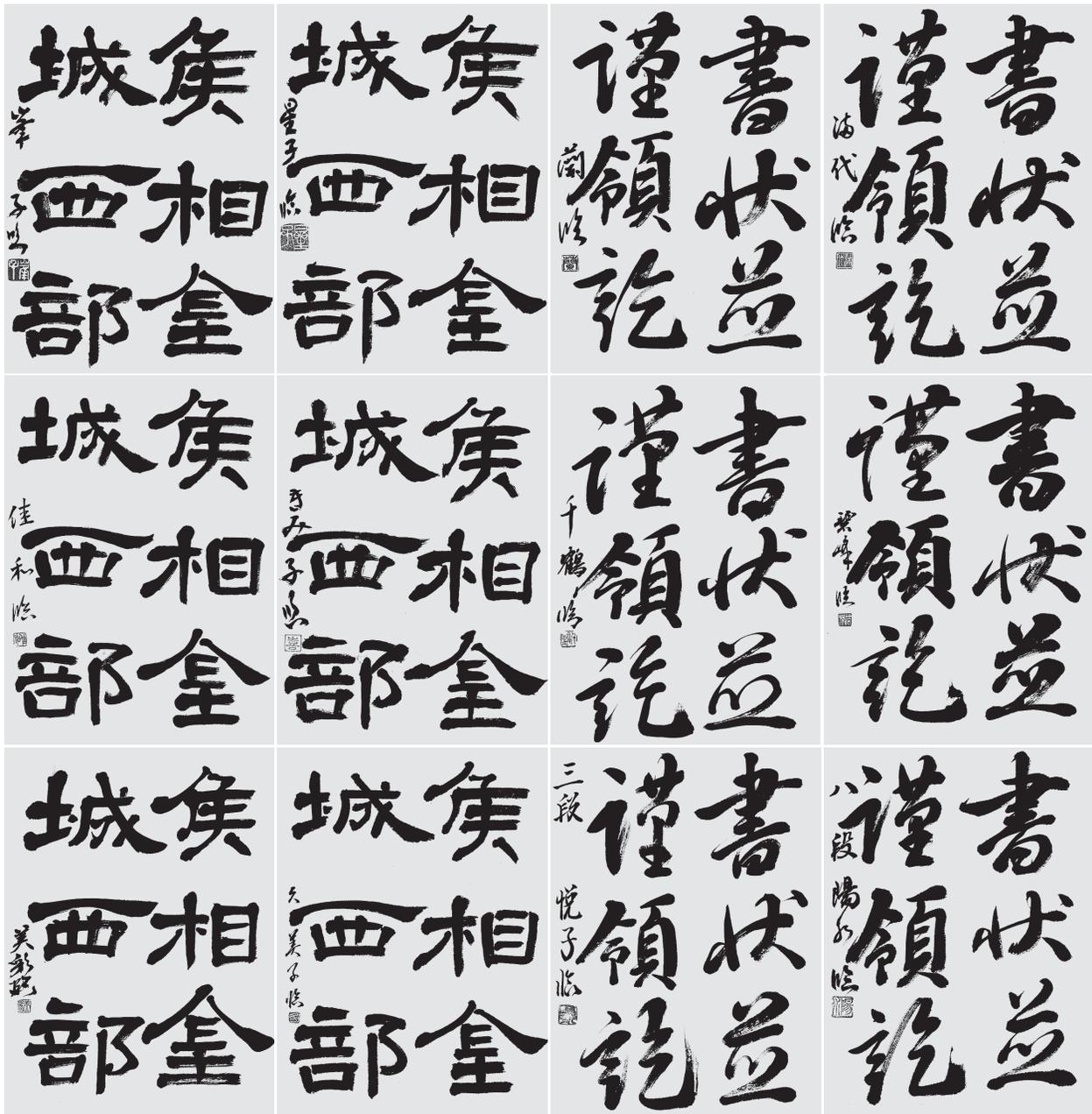
佐々木優子先生選評



枝長真美 推選
 墨色美しく、軽快なリズムで自然体で書かれた作品。「遭利」の墨の入りが絶妙。作品として完成度が高い。書き出しに硬さが出たのが惜しい。

佐藤 朋子 推選
 運腕柔らかに暢びやかで淀みない流れ、安定した筆運び、余白の美しい作品です。漢字とかなが美しく調和し日頃の鍛錬を感じる品格ある作品です。

赤富士北祭先生選評



野田満代 師範
 ゆつたりとした運筆が作品を大きく見せ流れを自然にみせている。風信帖の線の暖かみや筆意をよく捉えており日頃からの研鑽が窺われる。

中原 蘭 四段
 義之系の行書の特徴の一つである筆のあたりも的確で軽快なりズムを奏でている。線の厚みに期待させられる。押印して仕上げる姿勢もよい。

桐谷星子 師範
 隸書を書き慣れているのでしう。筆が良く立ち、切れ味がある線の表情に通貫性がある。印はやや小さめに。なお押印がある作品から最優秀作品を選びました。

崔 峯子 準八
 細かな部分も法帖を良く観察しながら、細めだが厚みがある線で表現している。紙に食い込むような線が魅力的で、風格を感じさせる臨書作品。

藤井碧峰 師範
 羊毛筆の弾力をよく効かせながら、清澄な線の中に、大胆な運筆から生まれ出る太細の変化も効果的である。若さ溢れる魅力的な作品。

松山千鶴 準四
 ソフトな筆さばきで温和な雰囲気がいよい。表現もオーバーになりすぎず流れも感じさせ好ましい臨書作品。落款まで丁寧な仕上げた作。

土田きみ子 準師
 起筆に意志の強さを感じ、作品に精彩がある。「西」の一画目をはじめ波法に伸びやかさがあり、筆の開閉も自然で見事な景色を醸し出している。

橋本佳和 七段
 文字の形体を平らにつぶし、余白を活かした明い作。曹全碑を持つ線の丸みや、文字の表情をよく捉えて表現した作品で好感が持てる作。

山田陽水 八段
 丁寧な法帖を読み取りながら、字空間も美しく、流れも淀みない作となった。落款にも長年のキャリアと感性を感じさせる。

佐藤悦子 三段
 筆路も明確に、伸びやかな線の表現は素晴らしい。最終画のはねは短めにゆつくり筆を押し出すようにしよう。印の選択を慎重に。

上原久美子 準八
 藏鋒で丁寧な、原帖の持つ静かな雰囲気表現した作。ほどよく引き締まった気分が紙面にあらわれ、隙のない作品に仕上げている。

田村美彩 準六
 柔らかい用紙に濃墨で書かれ効果的である。線質に牙えがあり全体に統一感がある。横画のしなやかさが加わると申し分ない。落款が美しい。